

受 験 番 号							
M							

令和 8 年度
 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験
 【博士課程前期】（9 月入試）

専 門 科 目

教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム
 特別支援教育学領域

令和 7 年 9 月 1 0 日

自 9 時 0 0 分
 至 1 2 時 0 0 分

受験上の注意事項

1. すべてのページに受験番号を記入してください。
2. 配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 配付した問題用紙は、表紙を含めて 1 0 ページです。
4. 領域共通問題（1），（2）（2～5 ページ）は必ず解答してください。
5. 領域選択問題 問 1～問 5（6～1 0 ページ）は、問題の指示に従って解答してください。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号							
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M							

領域共通問題（1）障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うためには，教育，福祉，医療，労働などの関係諸機関の連携が重要となる。このことを踏まえ，次の問 1 および問 2 に答えよ。

問 1 教育，福祉，医療，労働などの関係諸機関のうち，具体的な機関の名称を 3 つ挙げ，それぞれの専門性と連携上の役割について説明せよ。

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問2 障害のある子どもの支援における、教育、福祉、医療、労働など、関係諸機関の連携に関する現状と課題について具体例を挙げて説明せよ。その際、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱、言語障害、発達障害の中から1つ選択し、解答の冒頭に障害種を明記して、説明すること。

<解答欄>

障害種 ()

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

領域共通問題（2）自立活動について，次の問 1 および問 2 に答えよ。

問 1 障害のある子どもの実態把握から自立活動の指導内容の設定に至るまでの流れについて説明せよ。なお，子どもの障害種等の実態については任意に設定してよいが，それらの内容を明記するとともに，実態把握の方法と自立活動の指導内容との関係性を明確にしながら説明すること。また，説明に際しては，自立活動の内容の区分または項目を示すこと。

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問 2 問 1 で解答した自立活動の指導内容を各教科等の指導と密接に関連させるとするならば，どのような方法が考えられるか。自立活動の内容の区分または項目を引用しながら，具体的に説明せよ。

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

領域選択問題

次の問 1 ～問 5 の中から 3 問を選んで答えよ。選んだ問題文の末尾の（ ）に○を必ず記入すること。

問 1 視覚障害の原因となる疾患のうち緑内障と眼皮膚白皮症に関して，視覚障害に伴う学習上又は生活上の困難さを，両者の特徴や違いを明確にしながら説明せよ。（ ）

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問2 内耳性難聴の原因と聞こえにくさの特徴について説明せよ。（ ）

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問3 知的障害児の支援を考える際に、Vineland-II 適応行動尺度を用いることにはどのような利点があるか説明せよ。その際、Vineland-II 適応行動尺度の特徴もあわせて説明すること。（ ）

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問 4 器質性構音障害の原因と，それらの原因が口腔機能にもたらす影響について説明せよ。（ ）

<解答欄>

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 特別支援教育学領域	M						

問 5 特別支援学校のセンター的機能のうち、小・中学校等の児童生徒や教員に向けた支援機能について、具体例を挙げて説明せよ。（ ）

<解答欄>